

もっと

海洋クラブに にぎわいを！

2021年度「学生ボランティアの養成事業」 実施クラブを募集します

～ 地域の学生や高校生を呼び込んで、より安全に、より楽しく、
自然体験や海洋クラブ活動を地域の子供たちに提供しましょう！ ～





なぜ学生ボランティアを養成するの？

【対象は誰？】

海洋クラブ活動に参加できる大学生、短大生、大学院生、高校生、専門学校生など。

【メリットは？】

①海洋クラブ地域指導者会にとって…

- ・監視の目や手数が増え、「安全管理の質」が向上する！
- ・活動に元気な若者が加わって、「新鮮さ&賑やかさ」がUP！
- ・学生たちに、海洋クラブの活動や重要性をPRできる！

②地域の子供たちにとって…

- ・一緒に活動してくれるお兄さんお姉さんがいて、安心！

③学生にとって…

- ・安全管理、状況判断、子供への対応を身につけることができる！
- ・学校が求める「地域交流・ボランティア活動」の実践になる！

**ぜひ！10名位
集めてください**





何をすれば良いのですか？

まずは「体験会」に来てもらいましょう！

①体験会を提供

●体験会実施

内容:実技(カヌー、SUP、OPヨット等)および安全学習

5時間程度



②ボランティア協力依頼

●事業の手伝い

内容:指導補助、子供の引率や寄り添いなど、実践的な活動

年度内に1回以上

③人材の活用

●「B&Gリーダー」資格登録

※体験会+ボランティア協力で
合計14時間参加した場合に登録可能！

●クラブサポーターの一員として、定期的なイベント案内(手伝いの「場」を紹介して、海洋クラブに来てもらおう！)

内容:マリンスポーツだけに限らず、体育館での教室やイベントなどでもOK

定期連絡して、交流を増やそう

B&G「マリンスポーツ体験会」実施内容(例)

簡単な座学＋実技で「半日強」の体験会を提供してください！

【座学】（1時間30分程度）

- ・水辺での安全行動の知識と基本(15分)
- ・心肺蘇生法の知識(30分)
- ・海洋性レクリエーションの基礎知識
（カヌー、SUP、OPヨットなど の乗り降り、操作方法、沈の対処法(30分)
- ・ボランティアスタッフの役割(15分)



【実技】（3～4時間）

- ・海洋性レクリエーション実技(カヌー、SUP、OPヨットなど)、準備と片付け



財団からの支援はあるの？(2021年度)

あります！ ぜひ活用してください！

- ①開催経費補助：上限75,000円
- ②現物支給 :Tシャツ、カラーテキスト(5種)
- ③器材貸与 :SUP、CPRトレーニング用人形(先着順)

【経費補助の主な用途】

- ①スタッフ向け :昼食・飲み物代、交通費
- ②参加者向け :飲み物代、傷害保険料 ※参加者の昼食代は対象外
- ③その他 :安全・研修器材購入費(スローバッグ、ロープ等)
救助艇燃料代、送迎車代、寝袋レンタル代



B&G 押さえるポイントは？①

『日程調整』『参加者募集』『事後協力の依頼』『連絡先確認』

【日程調整】

実施時期は、早めに、参加者募集の対象とする学校(大学・高校等)等とスケジュール調整をしてから(試験スケジュールを避けて)設定する。

【参加者募集】

①学校に依頼して公募する

- ・大学の「ゼミ」や「ボランティア授業」担当の先生から学生に参加を薦めてもらう
- ・大学の食堂等で周知活動を直接行う
- ・大学の学生生活課等を通してポスター掲示・チラシ配布 等

②部活やサークルの、顧問や幹事に直接声がけする

- ・大学や高校の「ボランティア部」や「カヌー部」「ライフセービング部」等
- ・海洋クラブが連携している部・サークル等



B&G 押さえるポイントは？②

『日程調整』『参加者募集』『事後協力の依頼』『連絡先確認』

【事後協力の依頼】

- ①大学・学校には、予め、「マリンスポーツ体験会」参加後には、「海洋クラブへのボランティア参加依頼」をすることを伝える。
- ②「体験会」+「ボランティア協力」が14時間以上となった場合は、B&G指導員資格（リーダー）の取得・指導員カード付与があることを伝える。

【連絡先確認】

「体験会」の申込受付の際には、連絡先を確認する（電話、メール、LINEなど）

